

Medi-Cal 資格と資産の回収基準

保険会社、代理店、ブローカーによる配布

2024、年 1 月 1 日から、Medi-Cal プログラムでは、補償を受ける資格があるかどうかを判断する際に資産を考慮しなくなりました。銀行口座、車両、財産を報告する必要はありません。Medi-Cal は引き続きあなたの収入を確認し、資格があるかどうかを確認します。これには、仕事からの収入、子供や配偶者への扶養費、社会保障/退職障害給付金、賃貸収入などが含まれます。

年金と Medi-Cal の資産回収

Medi-Cal の加入者が亡くなった場合、Medi-Cal は 55 歳以上のときに受けたサービスに対していくらかの返金を求める場合があります。これらのサービスには、介護、在宅介護、特定の病院費用や医薬品費用が含まれます。

亡くなった人の資産がなかった場合、または遺言検認と呼ばれる法的手続きを経る必要がなかった場合、Medi-Cal は返金を求めません。特別なルールや質問されない特別なケースがあるかもしれません。

State of California—Health and Human Services Agency
Department of Health Care Services

年金と呼ばれる特定の種類の金融プランは、誰かが亡くなった後に返金を求める Medi-Cal の一部である可能性があります。詳細については、Medi-Cal Estate Recovery Program のウェブサイト https://www.dhcs.ca.gov/TPLRD_ER をご覧いただくか、1-916-650-0590 までお電話ください。

介護施設をご利用の方へ

未婚者の場合、毎月、あなたの収入のほとんどは介護施設や介護費に充てられます。毎月 \$35 を個人的な出費のために残すことができます。

収入の一部または全部を配偶者または内縁関係者に譲渡できる特別な規則があります。これらの規則によって、同居する人が生活するのに十分なお金を持っていることを確認するのに役立ちます。場合によっては、裁判所の特別裁判官 (行政法裁判官) があなたからさらに多くの収入を差し押さえることを許可する可能性があります (42 United States Code § 1396r-5)。

State of California—Health and Human Services Agency
Department of Health Care Services

上記の通知を読み、コピーを受け取りました。

購入者の署名:

_____ 日付: _____

配偶者または内縁関係者の署名:

_____ 日付: _____

法定代理人の署名:

_____ 日付: _____